

平成 19 年度 教育 研究 業績 書

氏名 池田 碩

最終学歴	立命館大学大学院文学研究科地理学専攻			
取得学位	文学修士			
所属学会	日本地理学会、地形学連合学会、人文地理学会、日本国際地図学会、奈良地理学会（会長）			
現在の専門分野	自然地理学、地形学、災害・防災地理学			
研究課題	組織地形学、気候地形学、防災・減災へ向けての応用地理学			
【研究上の特記事項】				
日本・世界にわたる花崗岩地域の地形・地質学の研究 岩石の風化作用と破壊過程の調査、および石造文化遺跡の保全への応用 自然災害発生地現地調査と報告書の作成				
【教育上の特記事項】				
講義科目のうち 自然地理学、同特殊講義（地史・地形誌）地形学特論（修士） 災害地理学などに対応させている。				
【社会的活動】				
阪神震災（1995.1.17）から現在への経過・被災地域の追跡 現住地・宇治市と周辺地域の開発災害などの防災調査 奈良市の防災および環境保全対策審議員				
【学内活動】（学内職歴を含む）				
公開講座：日本・外国の自然遺産地域と人間のかかわり（5/13奈良なら館） 出前授業：高知県立岡豊高等学校（11月21日） 地理学科 大学院主任				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（学術論文）				
ハノ、テールの凱旋門周辺と水道橋列柱群遺跡の風化	単	2008.3	奈良大学総合研究所報16号	貴重な石造遺跡群の風化作用による破壊の実態を調査し報告した。
岩石海岸の微地形	単	2008.3	奈良大学紀要36号	HoneycombとPotHoleを中心にそれらの形成過程を現地調査で確認し報告した。
（学会発表）				
奈良地理学会を中心とした地域学習への取り組み	単	2008.9	日本地理教育学会新地理55巻2号	学会の歴史と、これまで地域の教育に取り組んできた成果を中心に報告した。
（その他）				
琵琶湖湖底の地形	単	2008.3	琵琶湖ハンドブック	琵琶湖の地形形成の特徴の例として報告
書評：図説・世界の地域問題	単	2008.2	雑誌「地理」631号	
北米南米への日系移民	単	2007.1	第2回高の原カルチャーサロン	奈良大学・地理学講座で発表